

参天製薬株式会社

2018年度連結業績概要 2019年度連結業績予想



2019年5月10日

常務執行役員

経営管理担当兼 CFO兼 財務・管理本部長

越路 和朗

2018年度 連結決算概要

2018年度通期業績

海外事業・国内重点製品の順調な成長により、国内薬価改定の影響を吸収し、増収。
費用最適化効果もあり、営業利益ベースも順調に伸長。

(億円)	2017年度		2018年度		
	通期累計	通期累計	対前期 増減率	通期 業績予想	対業績 予想比率
(コアベース)					
売上収益	2,249	2,340	4.0%	2,370	98.7%
売上原価	-864	-908	5.1%	-910	99.7%
売上総利益	1,386	1,433	3.4%	1,460	98.1%
販管費	-688	-713	3.6%	-730	97.6%
研究開発費	-244	-238	-2.6%	-250	95.0%
営業利益	454	482	6.3%	480	100.5%
当期利益	335	361	7.9%	353	102.2%
(フルベース)					
営業利益	387	451	16.6%	407	110.8%
当期利益	353	319	-9.4%	304	105.1%
(負担税率)	10.2%	25.9%			
ROE	13.0%	11.1%	-1.9pt		
USD	JPY 110.94	JPY 110.82	+0.1%	JPY 110.00	-0.7%
EUR	JPY 129.92	JPY 128.38	+1.2%	JPY 130.00	+1.2%
CNY	JPY 16.84	JPY 16.52	+1.9%	JPY 17.00	+2.8%

+ : 円高、- : 円安

売上収益

国内：重点製品の順調な成長により、薬価改定の影響を吸収
海外：アジアを中心に、引き続き好調に推移
全体で、**91億円（4.0%）の増収。**

営業利益

(コアベース)

海外の順調な成長と各事業における費用最適化効果により、薬価改定の影響も吸収し、**29億円（6.3%）の増益。**

(フルベース)

コアベースでの事業の成長に加え、日本社・大阪工場の売却益もあり、**64億円（16.6%）の増益。**

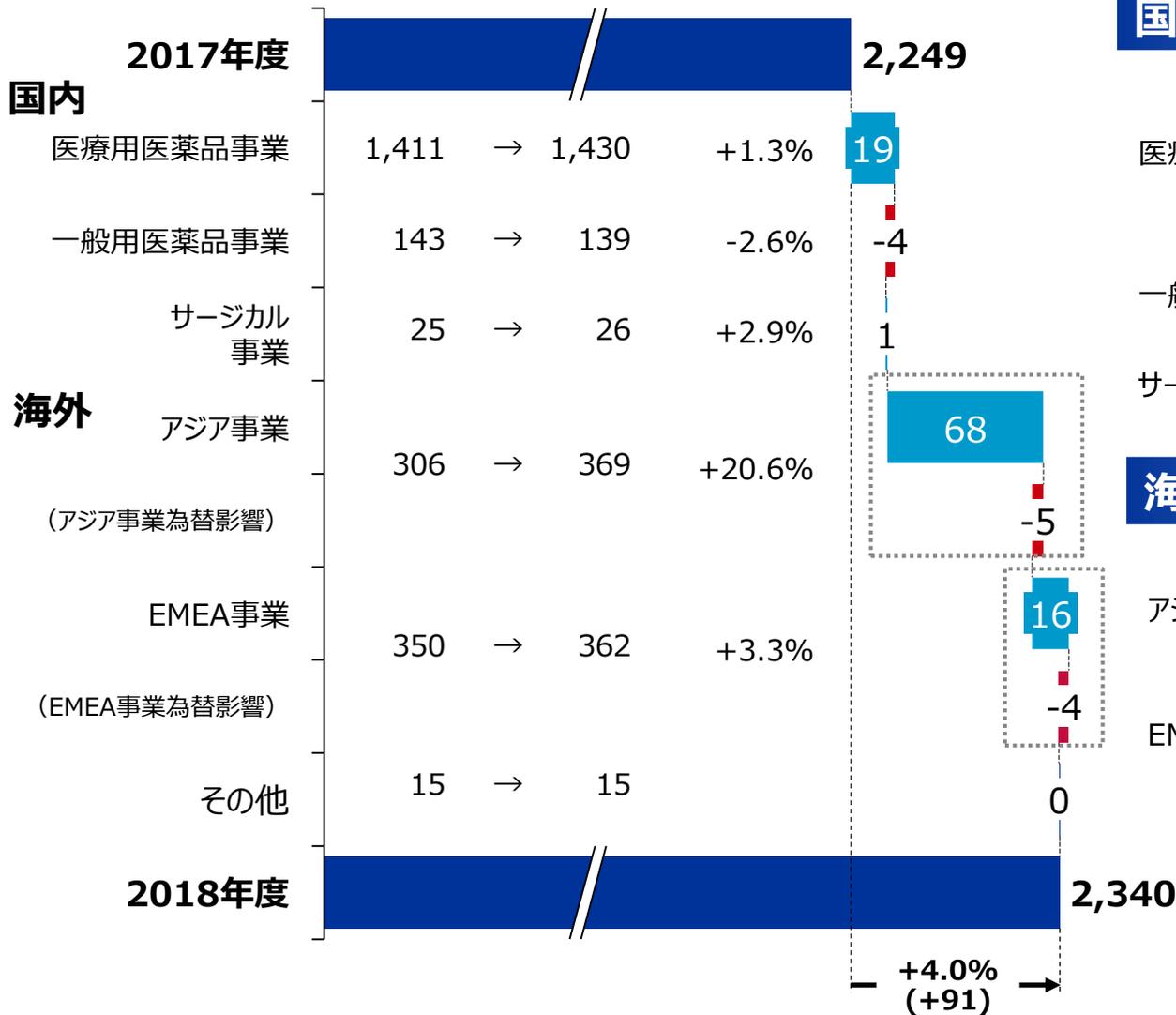
当期利益

前年度の米国法人税率引下げによる一時的な影響に加え、InnFocus社買収関連費用に関する会計処理の影響もあり、**33億円（9.4%）の減益。**

2018年度通期 売上収益

国内で重点製品が順調に伸長。海外ではアジアが大きく成長。

(億円)



国内事業

医療用医薬品
アイリーア*1 (+9.0%)・アレジオン (+15.4%) ジクアス (+8.7%) の伸長により薬価改定 (-4%以上) などのマイナス影響を緩和。
(薬価改定を含むマイナス影響を除くと107億円 (+7.7%) の増収)
期中上市の新製品 (エイベリス点眼液・11月、点眼液洗眼薬ウェルウォッシュアイ・12月) も堅調に推移。

一般用医薬品
好調に推移する国内向け高価格帯製品により、前年キャンペーンの影響、自然災害や電商法によるインバウンド需要伸び悩みの影響を緩和。

サージカル事業
遠方・中間距離の快適な視力を提供する新製品レンティス コンフォートの試験的販売を11月より開始。(4月より本格発売)

海外事業

アジア事業
各国での順調な成長により、20%を超える増収。
中国：+20.0%、韓国：+20.9% (円建て)
アジア全域→上市：21製品、承認取得：42製品
既存製品と併せ、今後の持続的成長につなげる。

EMEA事業
Ikervis・緑内障製品がイタリア・ドイツなど主要国を中心に引き続いて伸長し、ロシアでの一過性要因など前期の反動を吸収し、増収。

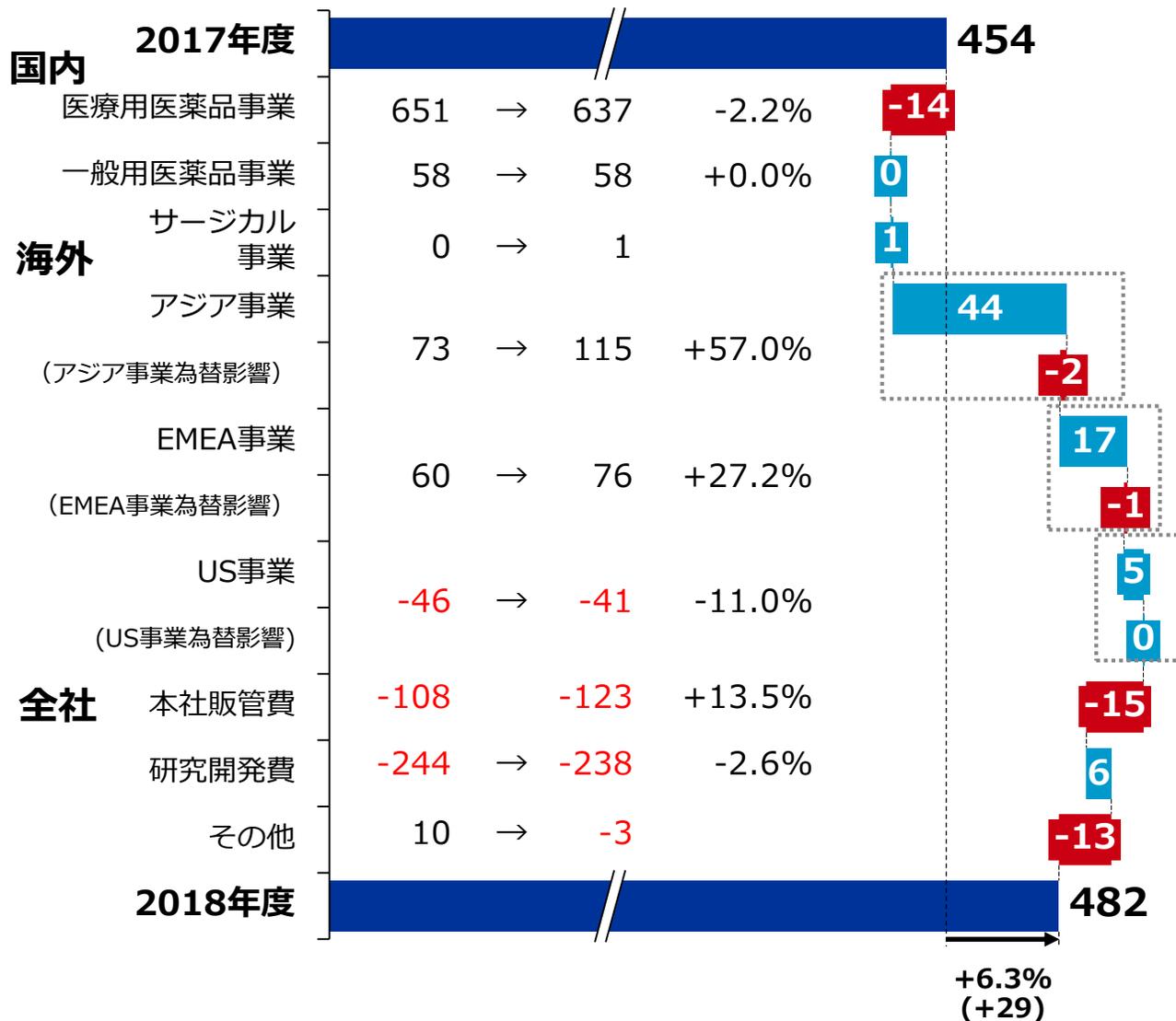
	2017年度	2018年度
USD	JPY 110.94	JPY 110.82
EUR	JPY 129.92	JPY 128.38
CNY	JPY 16.84	JPY 16.52

アイリーア*1：製造販売元であるバイエル薬品(株)とのコ・プロモーション製品

2018年度通期 コア営業利益

海外の順調な成長と、グループ全体での費用最適化により、国内薬価改定影響を吸収

(億円)



国内事業

医療用医薬品 流通における在庫調整の影響に加え、原価率上昇（薬価改定、プロダクトミクス）の影響を費用最適化により緩和。

海外事業

アジア事業 売上成長に加えて、原価率の低減もあり、利益も大きく伸長。

EMEA事業 ロシアなどの一時的要因による前期における増益の反動あるも、主要国で成長を続けるとともに費用最適化にも努め、増益。

US事業 DE-109上市準備関連費用の一時停止による販管費減少。

研究開発費

DE-109の一時停止（第3四半期より再開）、DE-126の最終症例観察終了（現在、解析中）に加え、費用投下の最適化により、対前期比減少。

	2017年度	2018年度
USD	JPY 110.94	JPY 110.82
EUR	JPY 129.92	JPY 128.38
CNY	JPY 16.84	JPY 16.52

2019年度 通期業績予想

2019年度通期業績予想

～MTP2020の中間年度として、成長性ととともに効率性のさらなる向上を目指す

(億円)	2018年度	2019年度	
(コアベース)	実績	業績予想	対前期増減率
売上収益	2,340	2,480	6.0%
売上原価	-908	-950	4.7%
売上総利益	1,433	1,530	6.8%
販管費	-713	-740	3.8%
研究開発費	-238	-280	17.9%
営業利益	482	510	5.7%
当期利益	361	377	4.5%
負担税率	25.2%	26.1%	
ROE	12.5%	12.8%	0.3pt
(フルベース)			
営業利益	451	345	-23.5%
当期利益	319	232	-27.4%
負担税率	25.9%	32.4%	
ROE	11.1%	7.9%	-3.2pt
USD	JPY 110.82	JPY 110.00	+0.7%
EUR	JPY 128.38	JPY 130.00	-1.2%
CNY	JPY 16.52	JPY 16.00	+3.3%

+:円高、-:円安

売上収益

国内：

新製品（エイベリス点眼液、高濃度アレジオン、レンティス コンフォート）を加えた重点製品の成長により、薬価改定の影響を吸収して増収をめざす

海外：

アジア、EMEAともに売上最大化をめざす。

全体で、2,480億円。対2018年度+6.0%の増収。

コアベース

本業からの経常的な利益は順調に成長。

・販管費：740億円。対2018年度+3.8%

新組織体制の下でさらに費用最適化を追求

・研究開発費：280億円。対2018年度+17.9%

2020年度以降の成長を見据えた戦略的投資を継続

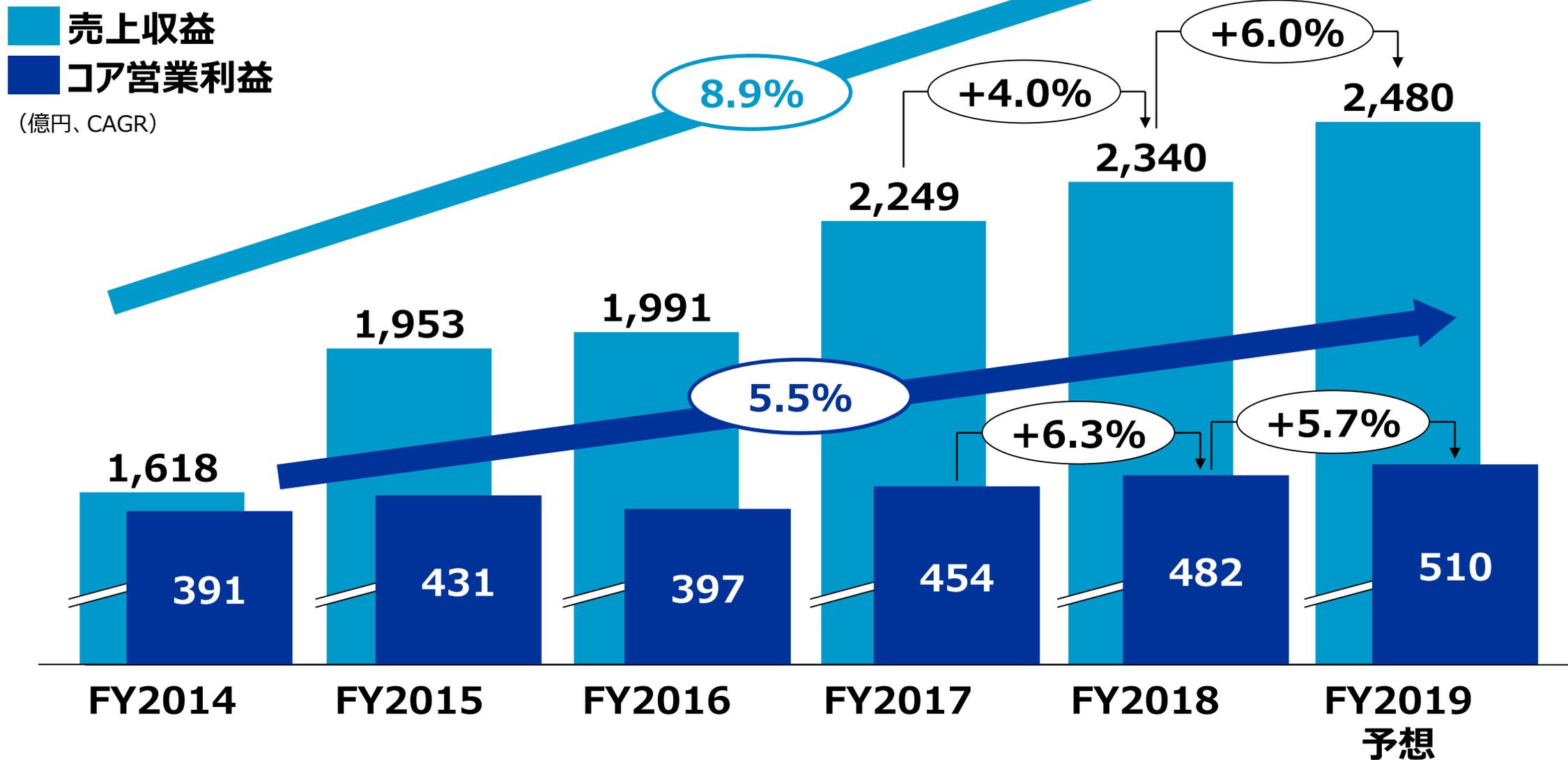
営業利益：510億円。対2018年度+5.7%の増益。

フルベース

DE-128の開発進捗によるマイルストーン支払い確度上昇の影響もあり、その他費用が増加。

営業利益・当期利益ともに減益見込み。

連結実績推移

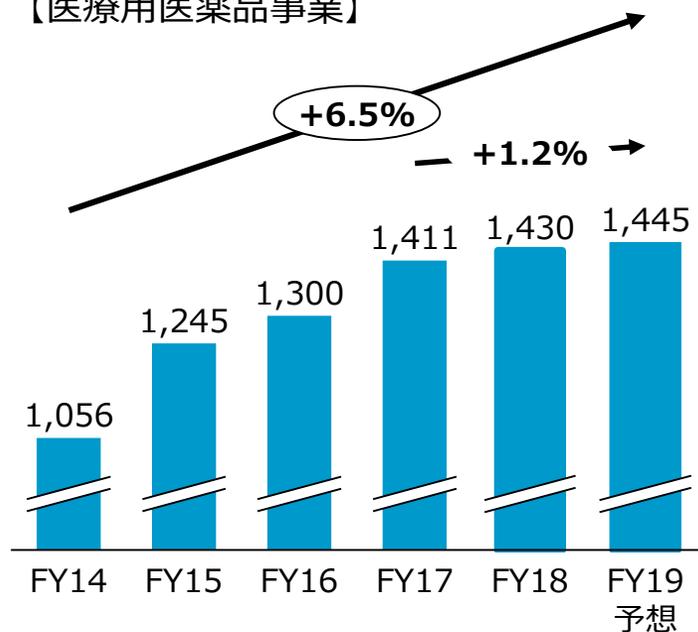


事業別実績推移（日本事業）

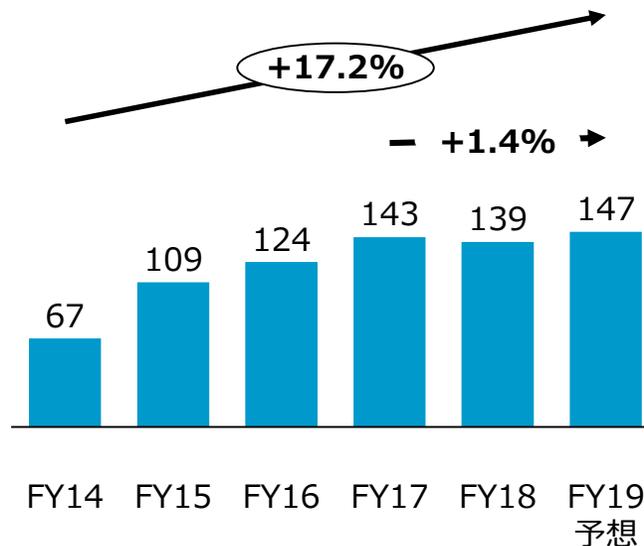
（億円、CAGR）

【医療用医薬品事業】

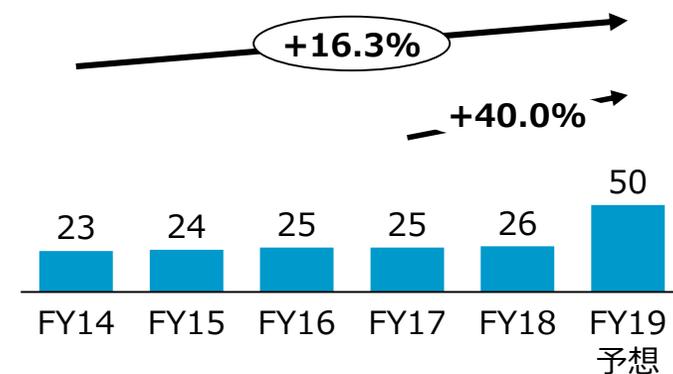
売上収益



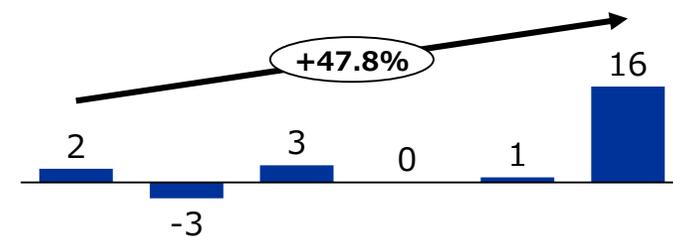
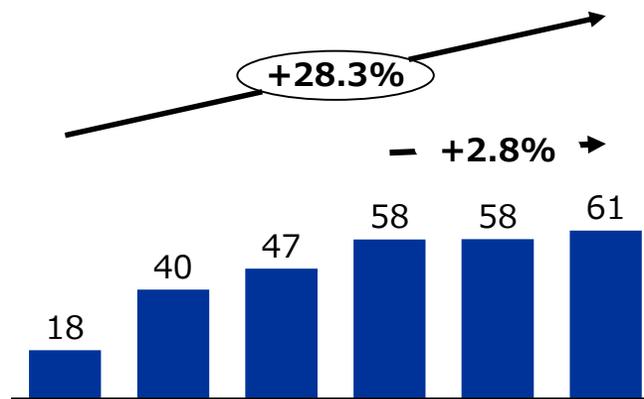
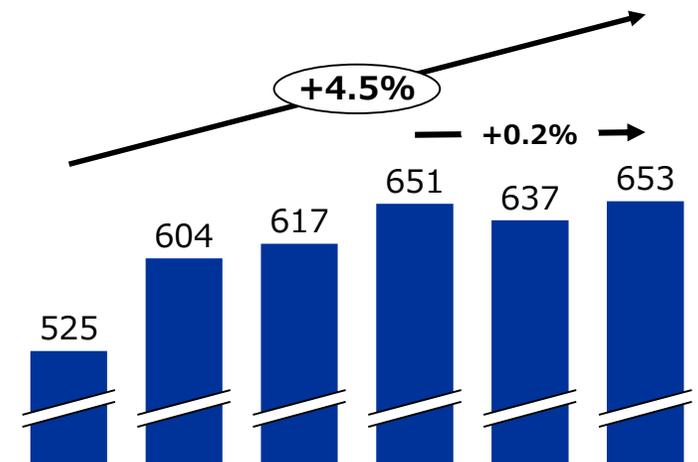
【一般用医薬品事業】



【サージカル事業】



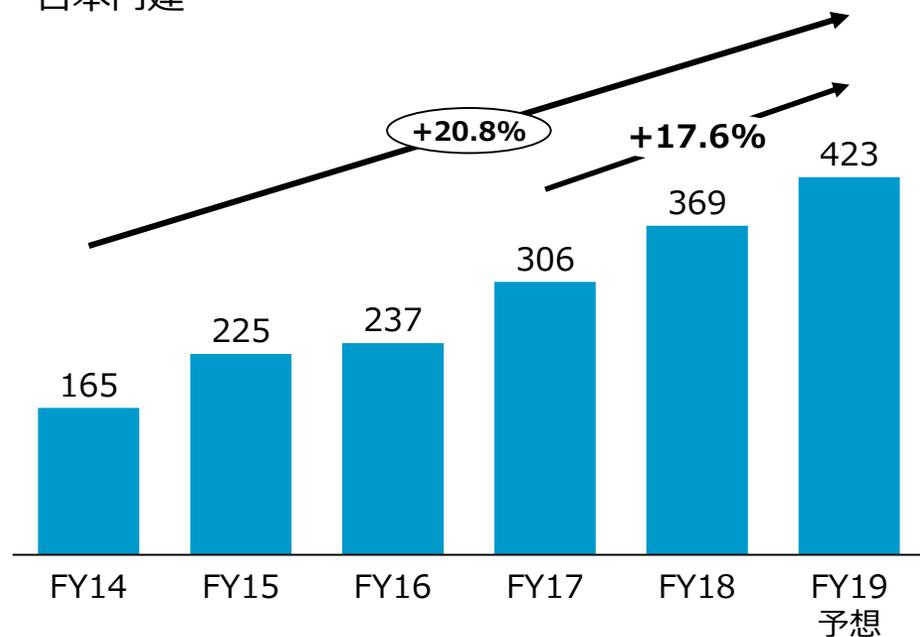
R&D費前
営業利益



事業別実績推移 (アジア事業)

日本円建

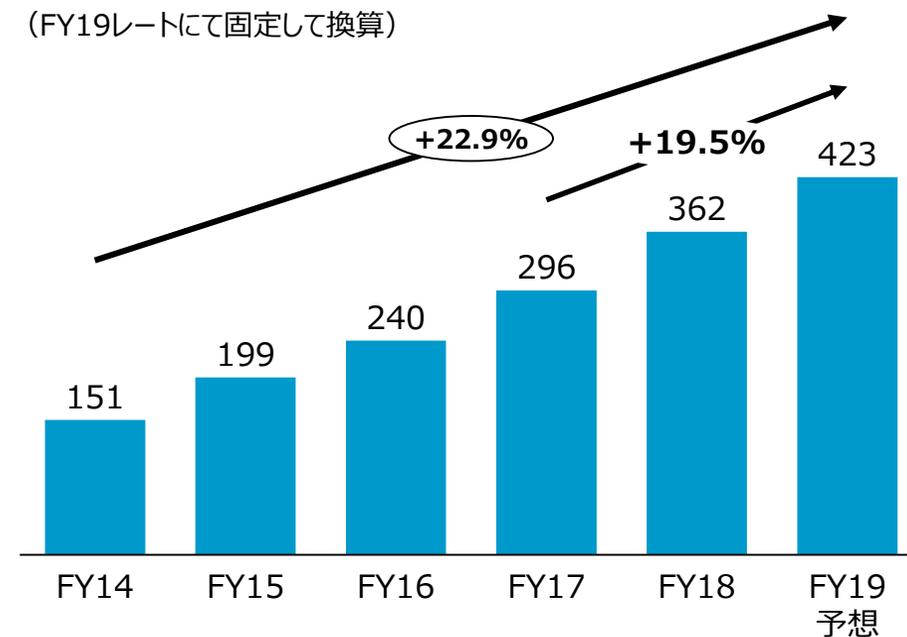
売上収益



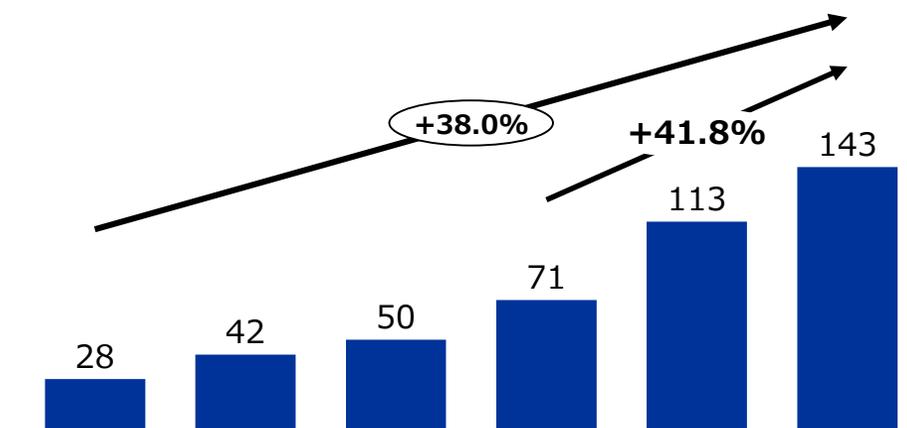
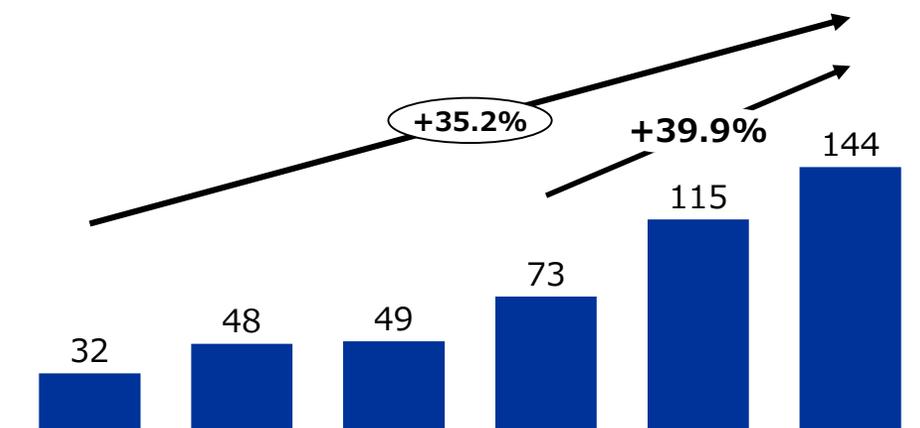
現地通貨ベース

(FY19レートにて固定して換算)

(億円、CAGR)



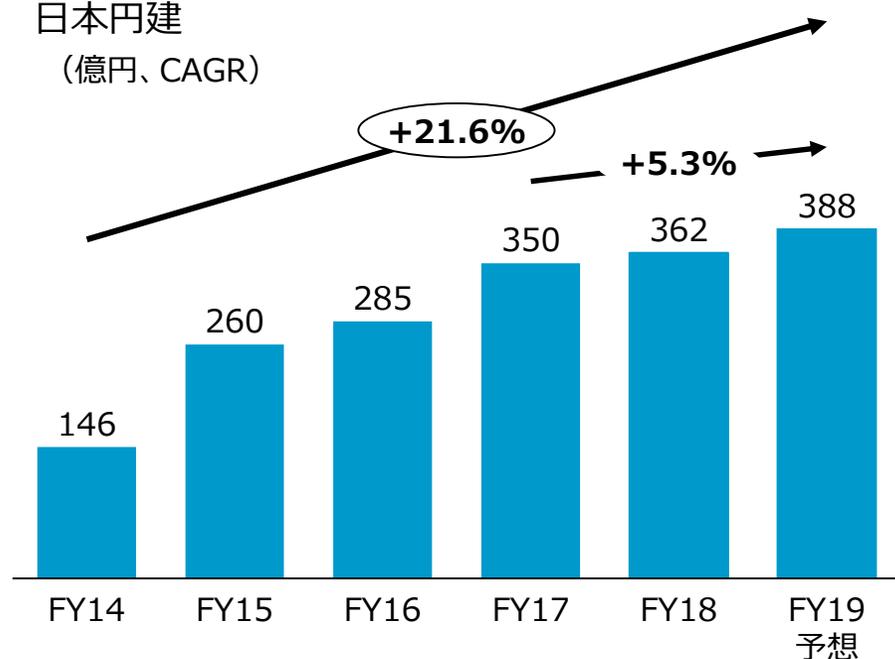
R&D費前
営業利益



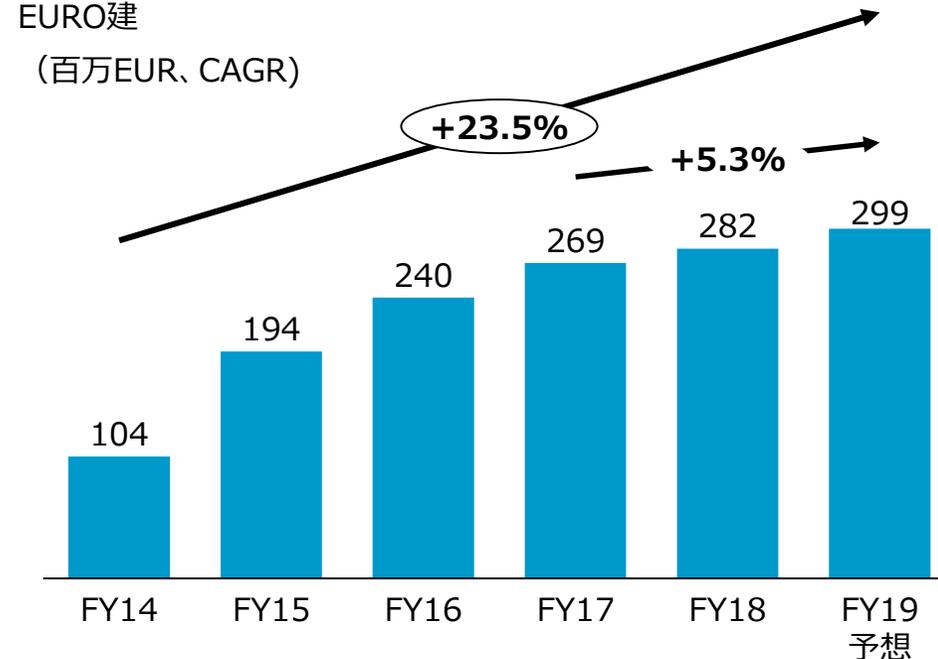
事業別実績推移 (EMEA事業)

日本円建
(億円、CAGR)

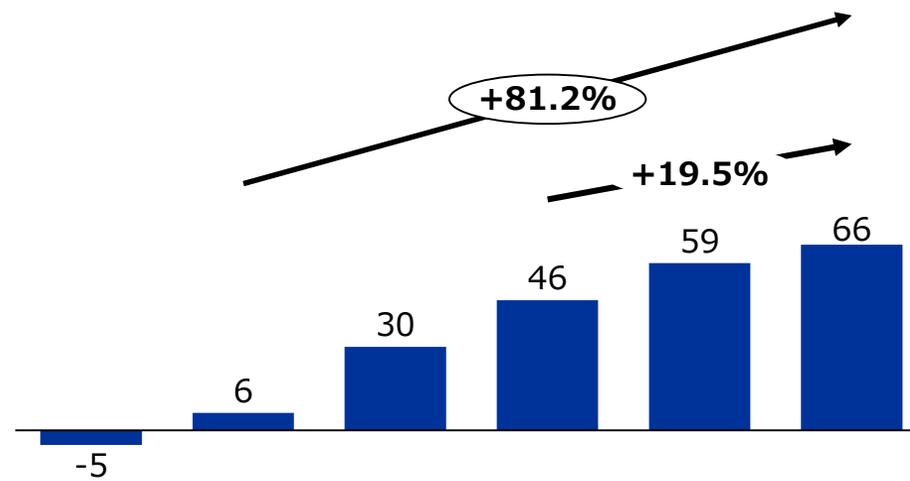
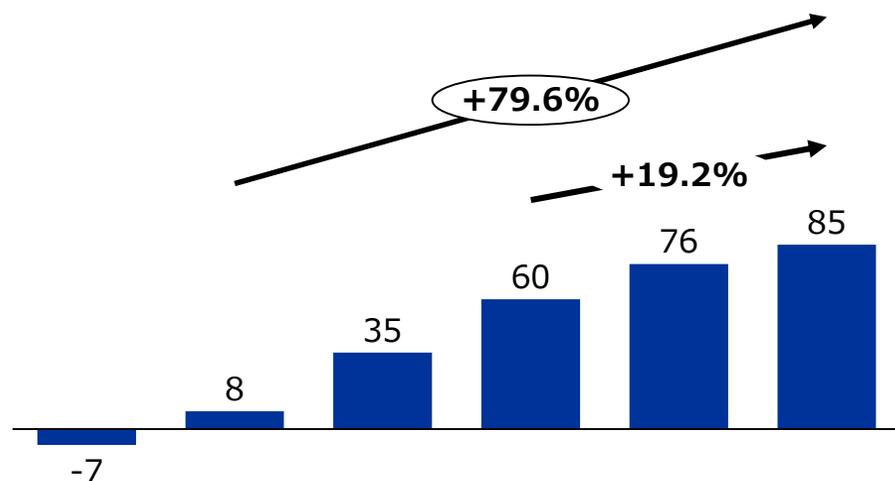
売上収益



EURO建
(百万EUR、CAGR)



R&D費前
営業利益



2019年度配当予想

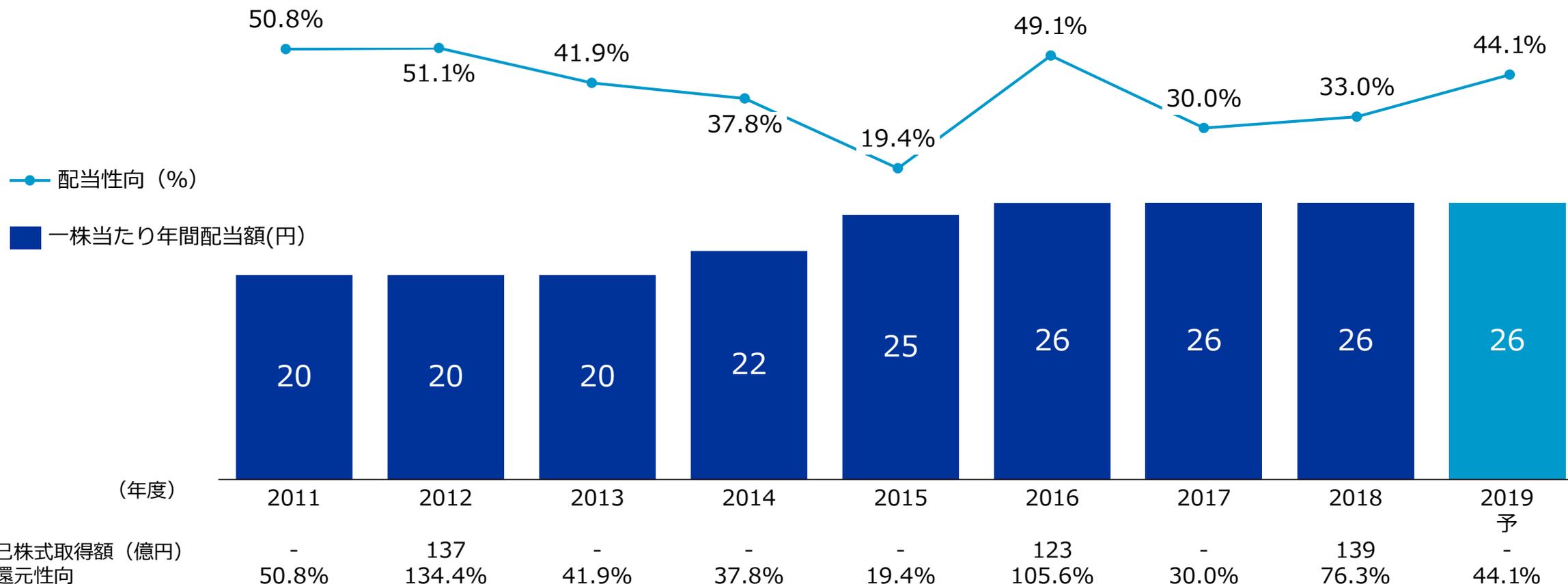
■ 年間配当

● 2019年度通期予想：26円

■ 安定性、持続性を重視した株主還元

■ 2020年以降の成長に向けた中長期的な戦略投資

→この2つのバランスのもとに、配当をはじめとする株主還元策を実施。



*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

研究開発の現状



常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー (CSO)

兼 研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

パイプライン/製品の開発状況①

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-111 タブコム/タブティコム タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩配合剤	緑内障・ 高眼圧症	中国	現状：P3 計画：2020年度上期 P3終了
		米国	現状：P3 計画：2020年1-6月P3終了
DE-117 エイベリス EP2受容体作動薬	緑内障・ 高眼圧症	日本	現状：上市
		アジア	現状：申請（2019年4月、韓国など） 計画：2020年度上期 承認
DE-126 FP/EP3受容体 デュアル作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2b
		日本	
DE-128 <i>PRESERFLO MicroShunt</i>	緑内障	米国	現状：P2/3 計画：2019年 市販前承認（PMA）の段階的申請完了、2020年 上市
		欧州	現状：CEマーク取得
DE-130A Catioprost ラタノプロスト	緑内障・ 高眼圧症	欧州	現状：P3開始（2019年4月） 計画：2021年 P3終了
		アジア	

パイプライン/製品の開発状況②

(2019年5月9日現在)
下線部は更新情報。

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-109 シロリムス 硝子体内注射剤	ぶどう膜炎	米国	現状：P3 計画：2021年1-6月 P3終了
		日本	現状：P3
		欧州	現状：P3
		アジア	現状：申請中
DE-122 抗エンドグリン抗体	滲出型 加齢黄斑変性	米国	現状：P2a 計画：2019年度下期P2a終了
DE-089 ジクアス点眼液	ドライアイ	中国	現状：上市
DE-076C Vekacia / Verkazia シクロスポリン	春季カタル	欧州	現状：上市
		アジア*	現状：申請 計画：2019年7-12月承認
		その他	現状：承認 計画：2019年上市
DE-114A エピナスチン塩酸塩(高用量)	アレルギー性 結膜炎	日本	現状：申請 計画：2019年7-12月承認
DE-127 アトロピン硫酸塩	近視	日本	計画：2019年度上期P2/3開始
		アジア	現状：P2 計画：2019年度下期P2終了
MD-16 眼内レンズ	白内障	日本	現状：P3終了(2019年3月) 計画：2019年度上期申請

*製品名は「IKERVIS」

參考資料

2018年度通期 要約純損益計算書

(単位：億円)	2017年度 通期累計		2018年度 通期累計		対前期 増減率
	実績	(対売上収 益比率)	実績	(対売上収 益比率)	
売上収益	2,249		2,340		4.0%
売上原価	-864	-38.4%	-908	-38.8%	5.1%
売上総利益	1,386	61.6%	1,433	61.2%	3.4%
販売費及び一般管理費	-688	-30.6%	-713	-30.5%	3.6%
研究開発費	-244	-10.8%	-238	-10.2%	-2.6%
製品に係る無形資産償却費	-67	-3.0%	-70	-3.0%	3.7%
その他の収益	4	0.2%	40	1.7%	865.3%
その他の費用	-4	-0.2%	-2	-0.1%	-52.7%
営業利益(フルベース)	387	17.2%	451	19.3%	16.6%
金融収益	10	0.4%	9	0.4%	-10.3%
金融費用	-4	-0.2%	-29	-1.2%	563.5%
税引前当期利益	393	17.5%	431	18.4%	9.8%
法人所得税費用	-40	-1.8%	-112	-4.8%	179.4%
(負担税率)	10.2%		25.9%		15.7pt
当期利益(フルベース)	353	15.7%	319	13.6%	-9.4%
コア営業利益	454	20.2%	482	20.6%	6.3%
コア当期利益	335	14.9%	361	15.4%	7.9%

旧本社・大阪工場売却による

InnFocus社買収に伴う長期
未払金の評価替えによる

2017年末の米国の法人税率引下げをうけ、
InnFocus社買収に伴って認識した繰延税金負債
を洗替えたことにより、前年度の法人所得税費用が
大きく減少したことによる。

2019年度通期予想 要約純損益計算書

(単位：億円)	2018年度		2019年度		
	実績	(対売上収益比率)	業績予想	(対売上収益比率)	対2018年度増減率
売上収益	2,340		2,480		6.0%
売上原価	-908	-38.8%	-950	-38.3%	4.7%
売上総利益	1,433	61.2%	1,530	61.7%	6.8%
販売費及び一般管理費	-713	-30.5%	-740	-29.8%	3.8%
研究開発費	-238	-10.2%	-280	-11.3%	17.9%
製品に係る無形資産償却費	-70	-3.0%	-99	-4.0%	41.1%
その他の収益	40	1.7%	9	0.4%	-77.3%
その他の費用	-2	-0.1%	-76	-3.0%	4287.5%
営業利益(フルベース)	451	19.3%	345	13.9%	-23.5%
金融収益	9	0.4%	8	0.3%	-6.8%
金融費用	-29	-1.2%	-10	-0.4%	-63.9%
税引前当期利益	431	18.4%	343	13.8%	-20.4%
法人所得税費用	-112	-4.8%	-111	-4.5%	-0.7%
(負担税率)	25.9%		32.4%		6.4pt
当期利益(フルベース)	319	13.6%	232	9.4%	-27.4%
コア営業利益	482	20.6%	510	20.6%	5.7%
コア当期利益	361	15.4%	377	15.2%	4.5%

PRESERFLO MicroShunt無形資産の償却開始による増加

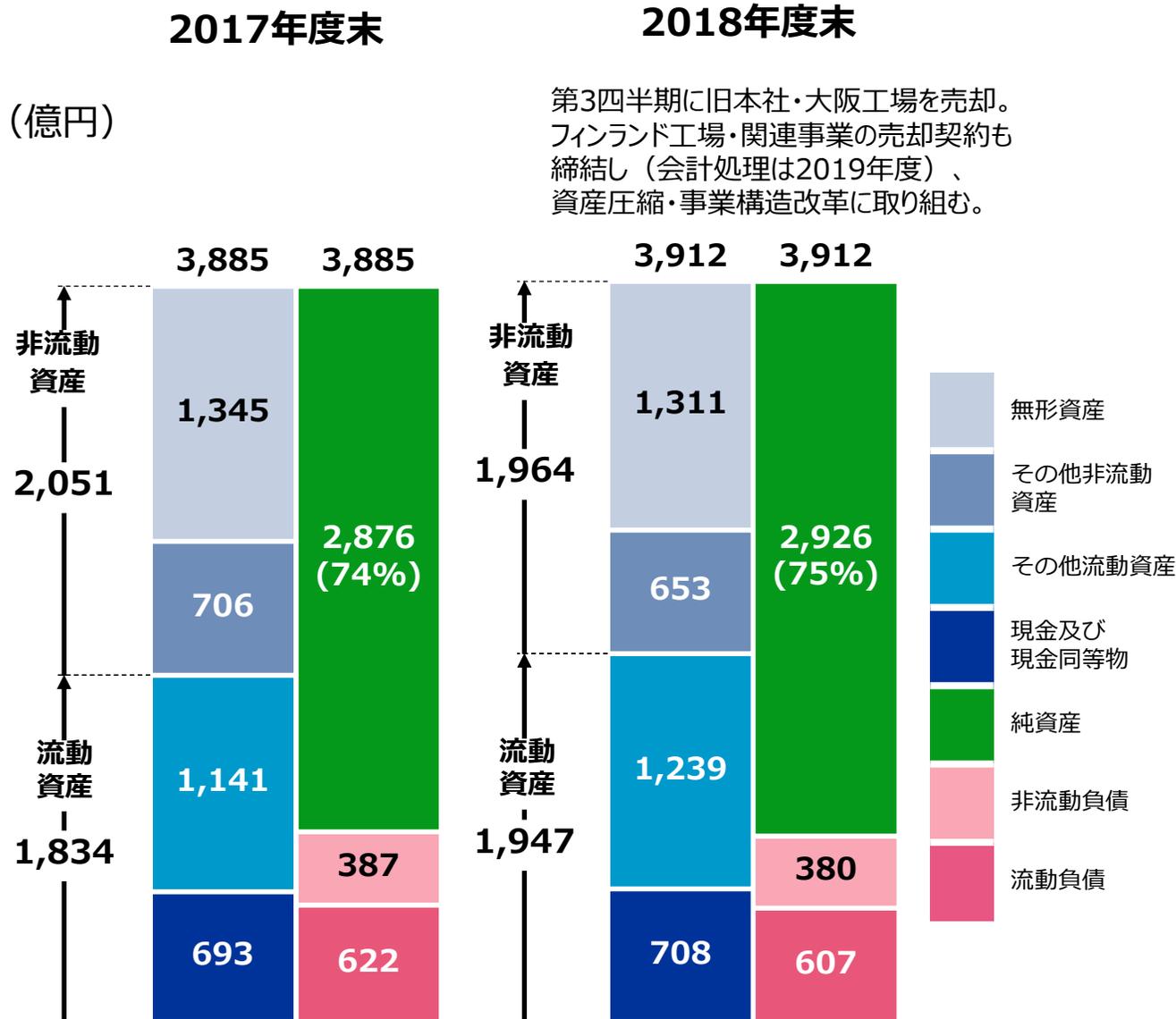
InnFocus社買収に伴う条件付対価公正価値上昇の評価替えによる
(2019年度中のDE-128進捗によりマイルストーン支払い発生見込み。)

上記の条件付対価の評価替えに伴う費用については税効果認識が出来ず、法人所得税費用が減少しないことにより負担税率が上昇。

2017年度・2018年度実績、2019年度業績予想要約損益計算書

(単位：億円)	2017年度		2018年度			2019年度		
	実績	(対売上収益比率)	実績	(対売上収益比率)	対前期増減率	業績予想	(対売上収益比率)	対2018年度増減率
売上収益	2,249		2,340		4.0%	2,480		6.0%
売上原価	-864	-38.4%	-908	-38.8%	5.1%	-950	-38.3%	4.7%
売上総利益	1,386	61.6%	1,433	61.2%	3.4%	1,530	61.7%	6.8%
販売費及び一般管理費	-688	-30.6%	-713	-30.5%	3.6%	-740	-29.8%	3.8%
研究開発費	-244	-10.8%	-238	-10.2%	-2.6%	-280	-11.3%	17.9%
製品に係る無形資産償却費	-67	-3.0%	-70	-3.0%	3.7%	-99	-4.0%	41.1%
その他の収益	4	0.2%	40	1.7%	865.3%	9	0.4%	-77.3%
その他の費用	-4	-0.2%	-2	-0.1%	-52.7%	-76	-3.0%	4287.5%
営業利益(フルベース)	387	17.2%	451	19.3%	16.6%	345	13.9%	-23.5%
金融収益	10	0.4%	9	0.4%	-10.3%	8	0.3%	-6.8%
金融費用	-4	-0.2%	-29	-1.2%	563.5%	-10	-0.4%	-63.9%
税引前当期利益	393	17.5%	431	18.4%	9.8%	343	13.8%	-20.4%
法人所得税費用 (負担税率)	-40 10.2%	-1.8%	-112 25.9%	-4.8%	179.4% 15.7pt	-111 32.4%	-4.5%	-0.7% 6.4pt
当期利益(フルベース)	353	15.7%	319	13.6%	-9.4%	232	9.4%	-27.4%
コア営業利益	454	20.2%	482	20.6%	6.3%	510	20.6%	5.7%
コア当期利益	335	14.9%	361	15.4%	7.9%	377	15.2%	4.5%

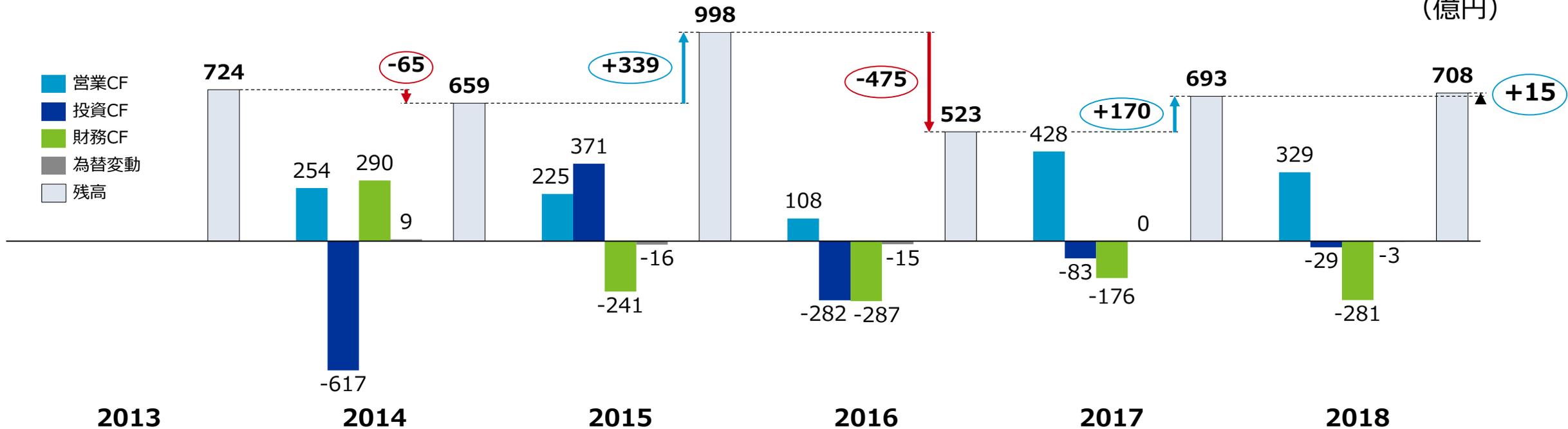
2018年度末 財政状態の推移



	2017年度末	2018年度末	増減額
非流動資産	2,051	1,964	-87
有形固定資産	297	317	20
無形固定資産	1,345	1,311	-34
金融資産	358	300	-57
繰延税金資産	23	18	-5
その他	29	18	-10
流動資産	1,834	1,947	114
棚卸資産	306	352	46
営業債権	787	846	60
現金及び現金同等物	693	708	15
その他	48	41	-7
純資産	2,876	2,926	50
非流動負債	387	380	-8
長期借入金	35	36	1
繰延税金負債	129	94	-35
その他	223	250	27
流動負債	622	607	-15
営業債務	297	321	23
金融負債	144	121	-23
未払法人所得税等	77	72	-5
その他	104	93	-11

キャッシュ・フローの推移

(億円)



・米メルク社製品買収により投資活動による支出が増加。
 ・同買収に係る借入により財務活動による収入が増加

・年金拠出による退職給付負債の減少により営業活動による支出が増加。(営業CF対前年比減少)
 ・抗リウマチ薬事業譲渡により投資活動による収入が増加。
 ・長期借入金の一部返済により財務活動による支出が増加。

・2015年度の抗リウマチ薬事業譲渡益に係る法人税等の支払いにより営業活動による支出が増加。(営業CF対前年比減少)
 ・InnFocus社買収により投資活動による支出の増加。
 ・自己株式の取得ならびに長期借入金の返済により財務活動による支出が増加。

・当期利益の増加による営業CFの増加。
 ・2016年度に発生した金額の大きな支出(事業譲渡益に係る法人税支払い、買収、自己株式の取得)の影響がないことにより各CFが増加。

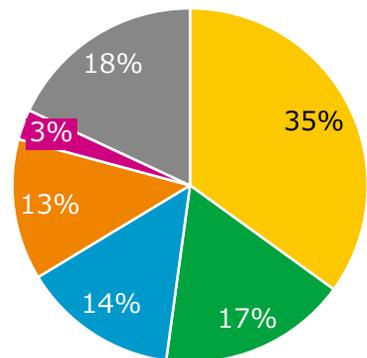
・当期利益の減少ならびに法人税支払額の増加による営業CFの減少。
 ・旧本社・大阪工場の売却により投資CFは増加するも、自己株式取得により財務CFは減少。

2018年度通期 セグメント別売上

(単位：億円)	日本				海外				合計			
	2017年度	2018年度	対前期 増減率	2019年度 予想	2017年度	2018年度	対前期 増減率	2019年度 予想	2017年度	2018年度	対前期 増減率	2019年度 予想
医薬品事業	1,587	1,605	1.1%	1,661	663	736	11.0%	819	2,249	2,340	4.0%	2,480
医療用医薬品	1,411	1,430	1.3%	1,445	659	731	10.9%	809	2,070	2,160	4.4%	2,254
眼科薬	1,404	1,426	1.5%	1,441	655	727	11.1%	807	2,059	2,153	4.6%	2,248
その他医薬品	7	4	-43.6%	4	4	4	-19.4%	2	11	7	-33.8%	6
一般用医薬品	143	139	-2.6%	147	3	3	-0.1%	4	146	142	-2.5%	151
医療機器	25	26	2.9%	50	1	1	95.7%	5	26	27	4.9%	54
その他	8	10	28.9%	19	0	1	121.0%	1	8	11	33.5%	20
売上比率	70.5%	68.6%		67.0%	29.5%	31.4%		33.0%				

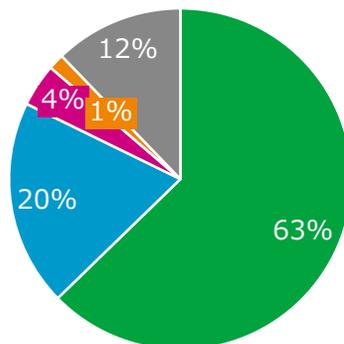
地域別売上収益（グラフ） / 2018年度通期

日本事業



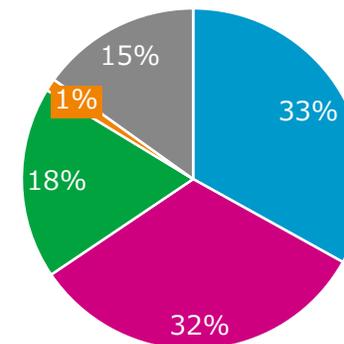
アイリーア*1 硝子体内注射液	562 億円
アレジオン点眼液	194 億円
ジクアス点眼液	139 億円
その他	709 億円
事業合計	1,605 億円

EMEA事業



コンプト配合点眼液	94 億円
タブロス点眼液	64 億円
Ikervis	29 億円
その他	175 億円
事業合計	362 億円

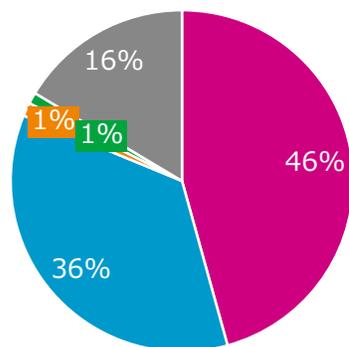
アジア事業



クラビット点眼液	104 億円
ヒアレイン点眼液	101 億円
コンプト配合点眼液	37 億円
その他	127 億円
事業合計	369 億円

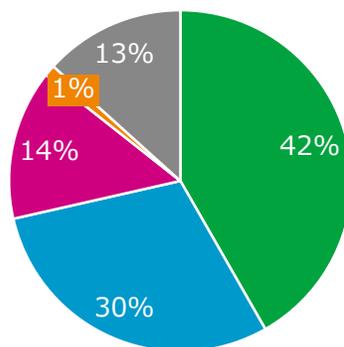
アイリーア*1：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

中国事業



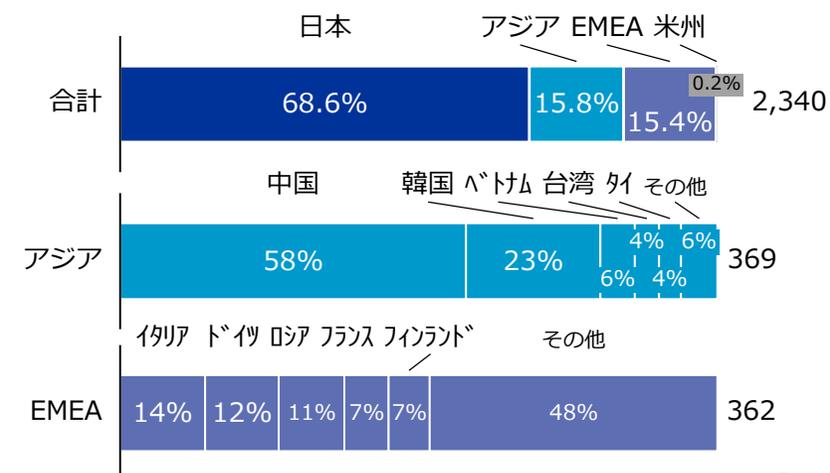
クラビット点眼液	89 億円
ヒアレイン点眼液	76 億円
フルメトロン点眼液	12 億円
その他	37 億円
事業合計	214 億円

アジア事業（中国除く）



コンプト配合点眼液	37 億円
ヒアレイン点眼液	26 億円
タブロス点眼液	19 億円
その他	74 億円
事業合計	155 億円

主要国・地域別売上（単位：億円）



■ 眼科用VEGF阻害剤 ■ 緑内障治療剤/デバイス ■ 角結膜疾患治療剤 ■ 抗アレルギー点眼剤 ■ 合成抗菌剤 ■ その他

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2017年度		2018年度		2019年度	
	実績	対前期 増減率	実績	対前期 増減率	予想	対前期 増減率
設備投資額	54	4.4%	72	32.6%	100	38.5%
減価償却費及び償却費*	42	19.7%	40	-4.2%	48	19.6%
製品に係る無形資産償却費	67	5.1%	70	3.7%	99	41.7%
メルク無形資産償却費	56	4.4%	58	3.9%	58	0.0%
PRESERFLO MicroShunt 無形資産償却費	-	-	-	-	28	-
Ikervis無形資産償却費	7	9.2%	7	-1.2%	7	1.8%

*製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

国内医療用眼科薬 市場概況

単位 億円	2017年度					順位	2018年度					順位
	参天販売製品*		市場		参天販売製品* シェア		参天販売製品*		市場		参天販売製品* シェア	
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率			金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率		
Total	1,679	6.7%	3,633	5.1%	46.2%	No.1	1,726	2.8%	3,652	0.5%	47.3%	No.1
抗緑内障剤	359	-2.4%	1,149	0.5%	31.2%	No.1	331	-7.8%	1,098	-4.4%	30.1%	No.1
抗VEGF薬	612	13.5%	853	14.5%	71.8%	No.1	675	10.3%	936	9.8%	72.1%	No.1
角膜疾患治療剤	290	1.7%	466	2.5%	62.2%	No.1	281	-3.2%	457	-2.1%	61.5%	No.1
抗アレルギー剤	205	26.7%	429	13.5%	47.9%	No.1	247	20.3%	473	10.3%	52.2%	No.1
抗菌点眼剤	56	-13.4%	139	-4.7%	40.0%	No.1	44	-20.4%	126	-9.4%	35.1%	No.1

*製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品（抗VEGF薬「アイリニア」）を含む
 出典：Copyright © 2019 IQVIA. IMS-JPM 2016.4-2019.3を基に参天分析 無断転載禁止

Glaukos社との米国でのMicroShunt (DE-128) 独占販売代理店契約について

米国市場参入方針

- ・ 差別化された製品で、その製品の特性を活かしたそれぞれの方法での参入による価値最大化
- ・ 最短期間での収益化実現

GLAUKOS®

MicroShunt

- ・ 緑内障手術分野における高い専門性
 - ・ 米国での強いプレゼンス
- ・ 従来に比べ有効性・安全性の高い手術方法を目指す製品

- ・ **最短期間でより多くの患者さんへのMicroShuntご提供を実現**
- ・ **米国ビジネス立上げ期間の短縮と費用削減**

※Glaukos社との独占販売は米国に限定

※参天もマーケティング活動ほか製造、品質・安全管理、規制対応、市販後調査などを行うことで米国での経験を積み、今後の米国事業強化への足掛かりとする。

保険適用製品「**レンティス コンフォート[®]**」を正式発売（日本）

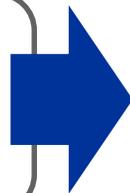
* トーリック眼内レンズMD-16開発中

日本初となる健康保険適用の低加入度数分節眼内レンズで
単焦点眼内レンズ適応患者様に“より快適”な視力を

（枚数ベースでは、単焦点トーリックを除くと約90%*1）

レンティス コンフォート[®]

マイルドな加入度数*2)
 を独自の扇型デザイン
 で組み合わせ



良好な遠方・中間視力

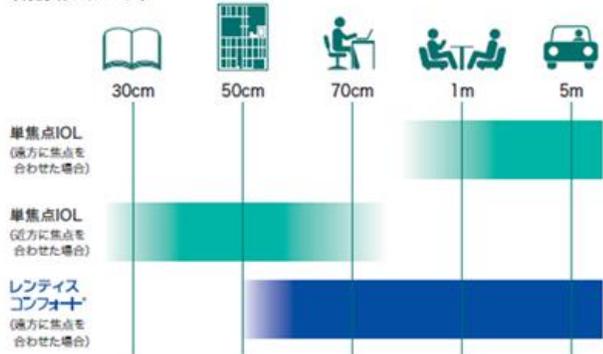
光学的不快現象の抑制

◆従来の単焦点レンズ
 焦点が合う範囲が限定的→良好に見える範囲は、遠方もしくは近方のいずれかに限定

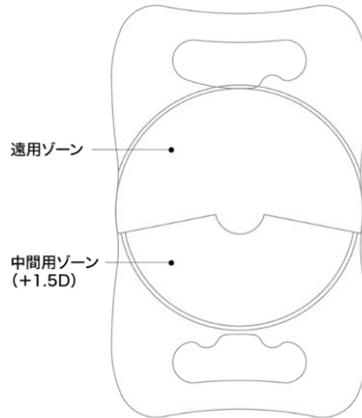
◆レンティス コンフォート[®]
 焦点が合う範囲が広く、遠方に焦点を合わせた場合、遠方から中間距離までの範囲で良好な視力が期待できる。*3)

ハロー/グレアの経時推移
 術後52週の自覚症状スコア「症状なし」もしくは「時に症状はあるが日常生活に影響なし」→ 98.3%。*3)

（明視域のイメージ）



監修：荒井宏幸先生（クイーンズ・アイ・クリニック）



ハロー/グレアとは

ハロー：夜間や暗い場所で光の周りに輪がかかって見える現象

グレア：光がギラつきまぶしく感じる現象

通常の見え方

ハロー/グレアの見え方



イメージ頂きやすいように、シミュレーションで表現しています

*1)：参天調べ *2)ベースとなる遠方を見る度数に、近方を見るために加えられた度数（遠方を見る度数と近方を見る度数の差に相当）

*3) MD-15眼内レンズの白内障手術後無水晶体眼を対象としたオープンラベル試験-第Ⅲ相- 治験総括報告書第2.1版

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

The logo for Santen features a large, stylized letter 'S' on the left. The 'S' is composed of two overlapping shapes: a light blue one on top and a dark blue one on the bottom. To the right of the 'S', the word 'Santen' is written in a bold, dark blue, sans-serif font.

A Clear Vision For Life™